

主な内容

一般質問議員と質問項目…………… 1

一般質問から…………… 2・3

主な質疑・議案等審議結果一覧…………… 3

委員会報告…………… 4



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行

那須烏山市議会

編集

議会広報委員会

事務局

☎0287-88-7114



平成29年3月3日に38年の歴史に幕を閉じるキハ40形気動車

12月定例会が11月29日(火)に招集され、12月6日(火)までの8日間の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は3ページに掲載しています。

※なお、議決された議案の内容など、詳しくは「広報なすからすやま第136号」をご覧ください。

一般質問議員と質問項目(質問順)

久保居 光一郎 議員



- 1 市公共施設再編整備計画について
- 2 人口減少問題と定住人口促進策について
- 3 市役所の高ストレス職場の起因について
- 4 英語特区導入による成果と個性を伸ばす教育について

中山 五男 議員



- 1 平成29年度予算編成方針について
- 2 旧七合中学校の活用策について
- 3 全国学力学習状況調査の結果公表について

平塚 英教 議員



- 1 JR烏山線の利用向上対策と駅舎周辺整備について
- 2 本市「道の駅」整備計画について
- 3 本市の防災計画と自主防災組織について
- 4 市内道路整備と維持管理について
- 5 本市の介護保険及び介護予防・日常生活支援事業について
- 6 非核都市宣言と広島平和記念式典派遣事業について

渋井 由放 議員



- 1 ごみの収集について
- 2 下水道について
- 3 大気汚染防止法の一部を改正する法律の施行等について
- 4 地域おこし協力隊について

川俣 純子 議員



- 1 山あげ会館の改修について

矢板 清枝 議員



- 1 英語教育の取り組みについて
- 2 地域と学校の連携について
- 3 地域ICT活用モデル構築について

田島 信二 議員



- 1 大桶運動公園の管理について
- 2 市道沿いの落石倒木等について

滝口 貴史 議員



- 1 動物行政に関する市の対応について
- 2 いかんべ祭について
- 3 放課後児童クラブの運営について
- 4 とちぎのプロスポーツとの連携について

小堀 道和 議員



- 1 独身者をほつとかないまちづくりについて
- 2 市民が実感する元気なまちづくりについて

樋山 隆四郎 議員



- 1 まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 2 まち・ひと・しごと創生総合戦略にかかる来年度予算はいくらかかる



※赤字になつてゐる項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容が掲載されてゐますので、そちらもご覧ください。

議会の動き

平成28年10月

29日 議会だより第42号発行

11月

1日 総務企画常任委員会視察研修
(2日まで・群馬県川場村他)

8日 文教福祉常任委員会視察研修
(9日まで・埼玉県嵐山町他)

22日 議会運営委員会
○議員全員協議会
○議会改革調査特別委員会

29日 第5回定例会
(12月6日まで)

30日 行財政改革調査特別委員会

12月
2日 経済建設常任委員会

6日 議会運営委員会
○議員全員協議会
○議会改革調査特別委員会

19日 文教福祉常任委員会視察研修
(佐野市)

21日 経済建設常任委員会視察研修
(22日まで・千葉県香取市他)

平成29年1月
13日 議会改革調査特別委員会

16日 議会広報委員会
○議員全員協議会

20日 議会広報委員会

平成28年12月定例会

一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。
会議録は市立図書館及び市ホームページで
閲覧できます。

久保居光一郎議員

市公共施設再編整備計画について

(問) 市公共施設再編整備計画は6年前から庁内で検討されているが、遅々としてその全貌が見えていない。最優先に考えることは何か。

(答) 庁舎整備を最優先として取り組みを進めたい。

人口減少問題と定住促進策について

(問) 本市の人口は合併当初から約4千人減少している。その対策や定住促進のために、企業誘致や教育・福祉・医療等にわたり多くの施策を講じているが、その成果はいかほどか。人口減少を鈍化させるとともに、増加に転じるために現状の諸施策を見直す時期ではないか。

(答) 総合計画において、人口減少対策を重点戦略に位置づけ、企業誘致や定住促進等の各種施策を展開し、人口減少抑制に一定の効果はあったが、人口減少に歯止めがかからない。第2次総合計画策定においては、重

点政策を明確にし、進捗管理・成果検証・課題分析・計画の見直しを着実に実施できることを基本姿勢として進めたい。

中山五男議員

全国学力学習状況調査の結果公表について

(問) 今年のテスト結果はすでに都道府県ごとに正答率が新聞報道されたが、驚くなかれ、栃木県小学6年生算数成績が全国最下位とのこと。そこで本市小中学生のテスト成績を伺いたい。

本市では学校教育費を最優先として、合併以来190億円を投じ、校舎や体育館、冷暖房設備、電子教材等学校教育には他の自治体に例を見ないほど税金を投入している。議会は教育費の投入効果を検証する義務があることから、これまでに幾度となく要望しているが、教育長はテスト結果の非公表に固執している。学力の上がらないことに恥らい公表できないのか。

(答) テスト結果を全国平均と比較すると、小学6年生では正答率が上回っている教科もあるが、中学3年生の正答率は各教科とも下回る結果となり大きな課題が見られた。教育委員会では数値の公表は控えているが、教職員の指導力の向上を図る研修に取り組んでいるところであり御理解願いたい。

平塚英教議員

本市の防災計画と自主防災組織について

(問) 昨年9月の関東・東北豪雨以来、国土交通省の呼びかけで事前防災行動計画(タイムライン)を導入する動きが全国的に広がり、県内18市町でも策定されている。本市も東日本大震災に見舞われ、台風や豪雨により那珂川、荒川、江川の氾濫による災害を何度も受けている。本市においても災害に備えて事前防災行動計画を策定し、いざという時に最大限の効果が発揮できるようにしていただきたい。

(答) 昨年の関東・東北豪雨を教訓に、国は久慈川・那珂川流域の減災対策協議会を立ち上げた。それを踏まえ、市内を流れる那珂川や荒川、江川で本年度中に現在の水防団待機水位(4m)や氾濫注意水位(5m)以下の値でタイムラインを策定していきたい。

(問) 自主防災組織についても、有事の際に実行力ある活動ができるよう、市と消防署が最大限の支援を。

(答) 県補助で防災倉庫等を設置するほか、各地域で



大雨により増水した荒川(向田地内)

渋井由放議員

ごみの収集について

(問) 資源ごみであるアルミ缶は、市内で集められた後、障がい者施設に運ばれ、選別作業を行うことで利用者の工賃になっている。大変有意義なことである。一方、スチール缶は単価が安いということもあり運ばれていない。しかし別の施設では、スチール缶等も集めて工賃としているところもある。アルミ缶と同様に、スチール缶も運ぶことは出来ないか。

(答) 障害者優先調達推進法の趣旨を踏まえて、障がい者の自立を支援するため、資源ごみの一部であるアルミ缶の選別作業等について、優先的に障がい者福祉施設に作業調達をしている。具体的には、まずらん作業所、あすなる作業所においている。

スチール缶等での要望があれば、障がい者施設の意向を踏まえながら、検討していきたい。



缶をまとめるあすなる作業所の皆さん

ていきたい。

(問) 前向きなお話をいただいた。どこへ要望をすれば良いのか。

(答) 環境課に直接相談いただきたい。

川俣純子議員

山あげ会館の空調について

(問) 平成29年度のペレット式空調設備の導入は決定したのか。

(答) 地元の企業育成と市の環境基本計画推進の観点から、ペレット式空調導入を市長判断で決定した。

(問) 山あげ会館は現在ボイラー式と電気式の空調を使用しているが、ペレット式を導入すると1つの施設で3系統の空調になり、管理が大変になる。自然には良いが、導入は全国で80件、栃木県で2件と少ない。また、ペレット式導入は高額となるため、財源の厳しい本市が導入を進めるのは早過ぎるのではないか。ペレットの供給も現在、安定しているとは言えないため、那珂川町、茂木町のペレット工場からの安定供給が見込めずから良いのではないか。

また、ボイラー式空調の耐久年数が切れてからでも遅くないのではないか。ペレット式、電気式、ボイラー式の比較を説明できるか。

(答) 三者の費用と財源を比較した資料については、後日、詳細を示したい。

矢板清枝議員

英語教育の取り組みについて

(問) 英語で丸一日話すイングリッシュデイキャンペーンの実施について伺う。

(答) 来年度、小学校高学年を対象に夏休みの2日間日帰りで実施する方向で検討している。実施の際は、市内の小中学校に配置されているALT、なすから英語塾の外国語指導員や受講生との連携を検討していく。

地域ICT活用モデル構築について

(問) 平成19年度から始まった総務省の当委託事業について現在の状況を伺う。

(答) 児童見守りと一斉メールの機能をミックスした学校メール配信システムを開発し、市内小中学校だけでなく県内ほぼ全ての市町、近隣の約500施設が導入している。災害情報等の一斉メール配信を継続運用しているほか、高齢者や情報弱者の方向けにちぎテレビとの連携によりデータ放送を構築し、行政情報や災害時に緊急情報を強制的に表示できる機能を開発した。本市のほか県内11市町で導入が進むなど、本市の取り組みが普及拡大している。

田島信二議員

大桶運動公園管理棟のトイレ管理について

(問) 管理棟のトイレが詰まって溢れることがあったが、その後の状況について伺う。また、ここは国体のアーチェリー会場となつていて、仮設トイレだけでなく障がい者の大会にむけた身障者用トイレの設置について伺う。

(答) トイレの詰まりについては、今年度、男子トイレが数回溢れ利用者に迷惑をかけた。検査したところ、配管等に異常はなかった。今後、同じ状況になった場合はすぐ対処する。身障者用トイレについては、国体のほか、来年は高校生の関東大会等が予定されているため、こういった大会に支障のないよう年次計画の中で順次整備を進めていく。

市道沿いの落石・倒木等について

(問) 危険箇所は把握しているか。

(答) 市で管理する道路は総延長400キロメートルを越え、全て把握することは困難。定期的な道路巡回をしている。自治会や通行人から通報があった際は、速やかに現地調査している。市民の安心安全な生活確保のため、広報媒体を活用し注意喚起に努める。



道路に覆いかぶさる倒木

滝口貴史議員

動物行政に関する市の対応について

(問) 野犬は市内いたるところで目撃されており、安

全面から危機感を抱いているところである。野犬に対する市の取り組み状況について伺う。

(答) 野犬の情報があつた場合は、随時、栃木県動物愛護指導センターとの連携により対応を行っている。また、不法投棄監視員による毎日の巡回と、環境課職員による週1回の巡回を実施している。1匹でも多い野犬の捕獲、そして安全対策に努めていきたい。

(問) 市の環境基本計画ではごみのポイ捨て禁止条例を制定の上、ペットのふん尿対策もあわせた規制強化を図るとしている。罰則規定を含む拘束力のある条例制定が必要という判断から、重点プロジェクトにも位置づけた。積極的に検討すべきではないか。

(答) 条例等については、できる限り早い時期の制定に向けて検討する。



市内をうろつく野犬

小堀道和議員

独身者をほっとかないまちづくりについて

(問) 本市が、日本創成会議で定義した消滅可能性都市にならないために、人口



市結婚相談所主催「なすから恋活パーティー」会場(12月18日ヴィラ・デ・マリアージュ宇都宮)

減少を食い止め、人が集まってくるような魅力あるまちにする必要がある。

そのために、子育て支援や働く場の創出などの施策は必要不可欠だが、財政的に厳しいばかりで他の自治体も同様に取り組んでおり、大きな効果は期待できない。

そこで、人生の幸せづくりに大きく貢献できる婚姻率向上の活動が直接的に効果を上げる方策だと思ふ。

本市の独身者の結婚願望率が90%弱であることを考慮し、まちを挙げて「独身者をほっとかないまちづくり活動」を推進すべきと考えられるが見解を伺いたい。

(答) 本市の総合戦略の中で人口減少対策として結婚支援の充実を挙げている。結婚推進員として若者の団体や企業及び那須南農協等から推薦してもらい、結婚への意識の醸成や本市独自の出会いの場の創出など市全体の結婚支援へ発展できればと考えている。

樋山隆四郎議員

まち・ひと・しごと創生総合戦略にかかる来年度予算はいくらかかる

(問) 平成29年度の地方交付税はいくら減額されるのか。

(答) 平成27年度と平成28年度の算定結果を比較すると、普通交付税1億8千万円程度の減額になった。さまざまな要因があるが、例として、合併算定替えの終了による3千万円の縮減や、太陽光発電メガソーラー事業により償却資産の固定資産税が増加したことによる増額などがあげられる。来年度は合併算定替えの縮減率が10%から30%へ拡大するため、9千万円ほどの減額になると想定している。

(問) まち・ひと・しごと地方創生総合戦略にかかる平成29年度の交付金について伺う。

(答) 平成26年度は先行型交付金を約1億円、平成27年度は加速化交付金を7千万円活用した。平成28年度は新たに推進交付金が設けられ、国から採択を受けた。平成28年度から30年度までの3年間、交付金を受ける予定で事務を進めている。

専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)

議員 報告第1号から第3号まで全て交通事故であり、残念なことに職員の交通事故に関する報告案件が毎回のようにある。これだけ事故があると、市全体の交通事故の発生

率と比較しても、職員の事故の割合が高いのではないかとと思う。職員の交通安全に対する意識の改善を更に進めていただきたい。

答弁 今期定例会も3件の交通事故に係る報告をした。本当に心を痛めているところであり心からお詫びしたい。出来る限りのこととはしているが、全職員まで徹底されていない。市役所一丸となつて、市長から職員に至るまで、無事故に向け努力したい。

職員給与と条例等の一部改正について

議員 今回の給与改定によつて市職員の平均給与は幾らになるのか。

答弁 平均給与は算出していないが、概ね1500円程度上昇すると思われる。

一般会計補正予算(第3号)について

議員 臨時福祉給付金97万2千円が計上されている。対象者数と概要を伺う。

答弁 対象者は6100人を見込んでおり、1人当たり1万5千円の給付を予定している。該当者に通知し、申請は3月から6月下旬で計画している。

議員 生活保護費は当初予算では約2億9千万円、今回の補正額4100万円を足すと3億3千万円となる。昨年度決算額から約2千万円増えている

が、なぜ増えているのか。また、今後も増加傾向となるのか。

答弁 生活保護の被保険者数は4月1日で172名、現在は163名であり9名減少しているが、医療費扶助が大幅に増額となり今回補正した。今後も増加すると思われる。

市立図書館の指定管理者の指定について

議員 公共施設再編整備計画において、烏山図書館と南那須図書館を統廃合する方向で検討するとしているにもかかわらず、2つの図書館を残すことを前提に指定管理をしたことは非常に問題である。統廃合を早期に進めるよう強く要望する。

答弁 公共施設再編整備計画の中では統廃合に向け検討することになっており、今回の指定管理の期間中でも前倒しで進めることも含め検討する。

主な質疑



統廃合に向け検討が必要とされる図書館

12月定例会での、議員質疑の中から主なものを要約して掲載しています。会議録は市立図書館及び市ホームページで閲覧できます。

12月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)			議案等			審議結果			議案等			審議結果					
議案第7号	職員の配偶者同行休業に関する条例の一部改正について	可決	議案第4号	平成28年度介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可決	議案第8号	市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決	議案第5号	平成28年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可決	議案第9号	職員給与条例等の一部改正について	可決	議案第6号	平成28年度水道事業会計補正予算(第1号)について	可決
議案第10号	税条例等の一部改正について	可決	議案第12号	市道路線の認定について	可決	議案第11号	国民健康保険税条例の一部改正について	可決	議案第13号	平成28年度農地・農業用施設災害復旧事業の施行について	可決	議案第1号	平成28年度一般会計補正予算(第3号)について	可決	議案第14号	損害賠償の額の決定及び和解について	可決
議案第2号	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	追加議案第1号	副市長の選任同意について	同意	議案第3号	平成28年度熊田診療所特別会計補正予算(第1号)について	可決		請願書の取り下げについて	承認						

(起立による採決)

議案等	審議結果	議員別賛否一覧																	
		相馬	小堀	滝口	矢板	望月	田島	川俣	久保	渡辺	高徳	佐藤	沼田	樋山	中山	高田	小森	平塚	
議案第15号	図書館の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席 ※掲載は採決順で、議長(渡辺議員)は表決に加わらない。

総務企画常任委員会

研修報告



北本市役所で説明を受ける委員

平成28年11月1日～2日に先進地視察研修を行いました。

○埼玉県北本市

北本市は平成10年に庁舎建設基本計画を立ち上げるも財政状況から変更を重ね、総工費52億円を36億円(うち24億円は基金より拠出)に削減し、公共施設の集約化・児童館の併設・防災の拠点化などコンパクトな庁舎を整備。17年間の執行部・議会・市民参加の経過を辿り参考にしました。

○道の駅川場田園プラザ

群馬県川場村人口約3500人。年間来場者180万人。驚異的な人の流れは7割が首都圏から。川場村の村づくり3つのキーワード①農業+観光(政策)②都市交流事業(世田谷区)③道の駅川場田園プラザ事業を掲げ、壮大な田園理想郷づくりを目指してきた。地域活性化の拠点とし地域資源を活かし地元雇用を生み出しているこの施設は、全国モデルの道の駅6選に選ばれておりむらづくりと道の駅事業の参考になりました。

委員長 沼田 邦彦

文教福祉常任委員会

研修報告

当委員会は平成28年10月17日、市内に14カ所あるジオサイトのうち荒川層群大金層・小高層、曲田横穴墓群、小高自然環境保全地域を視察しました。遠くにしへの昔に思いを馳せ、市民の皆様にもぜひ見聞していただき、また観光等にも活かされたいと思います。

同日、荒川・七合・烏山放課後児童クラブを視察しました。全5カ所のうち、烏山のみが学校の空き教室ではなく子ども館を利用しています。耐震化されている烏山小への移転が必要と感じました。

12月19日、佐野市の国指定史跡である唐沢山城跡を視察しました。戦国時代に佐野氏が居城しており、高石垣、堀などが現在、唐澤山神社本殿を中心に広がっています。烏山城跡の今後の活用等の参考にしました。

委員長 田島 信二



唐沢山城跡を視察する委員

当委員会は11月8日～9日に視察研修を行いました。福祉関係研修として足利市のこころみ学園に伺い、事



こころみ学園でしいたけ栽培の説明を受ける委員

務局長に学園の生い立ちからワイン工場やしいたけ栽培に至るまでの歴史や、重たい知的障害を持った入所園生及び職員が努力する姿など説明いただきました。

「やってみたいと言ってもらえるまで入所園生に働きかけることがとても大切」「自分でやれることを見つけて徹底してやろう」という創設者の川田先生の教えを脈々と受け継いでいることに感銘しました。

文教関係研修として「烏山城を国指定の史跡にしてまちの活性化に結びつける方策を探る」ため先進事例の史跡数カ所を訪れました。埼玉県嵐山町にある鎌倉時代築城の国指定史跡菅谷館跡では、学芸員から国指定に至るまでの経緯を聞きま

副委員長 小堀 道和

経済建設常任委員会

研修報告

当委員会は、昨年10月9日に鹿沼今宮神社祭の屋台行事を視察研修しました。当行事は全国の国指定の祭「山・鉾・屋台行事」33件の1つとしてユネスコ無形文化遺産に登録されました。県内では本市の山あげ行事との2件だけです。当日は秋まつり屋台揃い曳きが行なわれ、絢爛豪華な彫刻の屋台が勇壮に巡行する姿に鹿沼市民の誇りを感じました。

次に12月21日・22日に千葉県香取市を訪問しました。ここでは同じくユネスコ無形文化遺産に登録された佐原の山車行事について観光振興及び観光戦略の観点から研修しました。江戸優りと称される佐原の大祭は夏と秋に行われ、山車は24台、日本三大囃子「佐原囃子」を響かせながら小江戸の町並み(国選定重要伝統的建造物群保存地区)を練り歩く祭りで、夏・秋ともに約40万人の観光客が訪れています。人材の確保・観光客の滞在時間の延



道の駅常陸大宮かわプラザで説明を受ける委員



佐原の重要伝統的建造物群を視察する委員

長が課題とのこと。本市と同じ課題を実感しました。さらに同市内にある「水の郷さわら」を訪問しました。同施設は平成22年に佐原広域交流拠点PFI事業(国県市共同)で整備し、利根川下流の防災拠点、道の駅と川の駅の併設、遊水公園の機能を有するものです。年間に約150万人の利用者があり、本市としても検討に値する研修となりました。

委員長 平塚 英教

意見書提出

12月定例会での決定を受け「森林・林業基本計画の推進を求める意見書」を国会及び関係行政庁あて提出しました。

12月定例会の本会議日程と傍聴者数

月日	内容	傍聴者数
11月29日(火)	開会・上程・採決・付託	18人
11月30日(水)	一般質問	11人
12月1日(木)	一般質問	12人
12月2日(金)	一般質問	5人
12月6日(火)	上程・報告・採決・閉会	3人
計		49人

12月定例会において審査された請願・陳情

番号	件名	審査結果
陳情書第2号	「森林・林業基本計画」の推進を求める陳情について	採択

12月定例会において取り下げが承認された請願・陳情

番号	件名	紹介議員
請願書第5号	月次・南大和久線の道路拡張工事について	望月 千登勢

あしがき

市民の皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成28年を振り返りますと、「烏山の山あげ行事」を含む全国33の祭礼行事が、「山・鉾・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。まことに喜ばしきことで関係者の方々やご尽力をいただいた皆様に感謝を申し上げます。

喜びばかりではありませんでした。4月の熊本地震では、震度7が2回観測された大きな被害に見舞われました。大きな揺れが2回以上続けて起きることなど今までになく、改めて防災対策やボランティア活動の重要性を再認識させられたところです。

当市は、財政状況が非常に厳しい中であって、観光振興、防災対策、景気・雇用対策、少子化や教育問題、社会福祉などに取り組みでいかねばなりません。

議会は、市民の皆様の声に耳をかたむけ執行部と切磋琢磨しながら、この難局を乗り越えて「住みよいまち」を目指すことをお誓いして年頭の挨拶といたします。

(渋井由放議員)

